

一八六番

一日には 千度参りし 東の 大き御門を 入
りかてぬかも

一八七番

つれもなき 佐田の岡辺に 帰り居ば 島の御橋
に 誰か住まはむ

一八八番

朝ぐもり 日の入り行けば み立たしの 島に
下り居て 嘆きつるかも